



▲農工商を推進し、産業の底上げを目指していく



▲環境にやさしい施設として期待されるクリーンの森合志



▲市内の各拠点をつなぐレターバス



▲北熊本スマートインターチェンジが開通し交通の利便性が高まっている

学校給食施設(旧西合志町エリア)の施設更新と運営については、安定的で持続的な給食の提供と運営を考慮し、センター方式での検討を教育委員会と連携し早急に取り組んでまいります。

※センター方式  
給食センターで複数校の給食を作り、提供すること

### 3 交通対策

交通対策については、中九州横断道路の早期整備に向け、国と県に働きかけを継続するとともに、本市としても、市内に計画されるインターチェンジへのアクセス道路の計画などに着手します。

また、全体的な交通・渋滞対策の広域的で総合的な協議の場として、昨年度、熊本県を事務局として菊池南部総合交通研究会の設置に至りました。

この研究会の中で、公共交通のあり方も含め、広域的な対応に向けた議論を行ないながら、国道と県道の改良についても意見し、市道の改良や整備についてもさらに取り組んでまいります。



### 4 企業誘致と農工商への支援

北熊本スマートインターチェンジに加え、中九州横断道路のインターチェンジを市内に2カ所整備予定です。また、熊本県が整備する新たな工業団地の整備候補地が本市に決定し、最終的な整備箇所決定に向けた基本計画や基本設計などに本年度着手されることと併せて、民間企業の進出意欲もさらに高まっていくことが予想されます。

先ほど触れたアクセス道路の整備計画も含め関係機関と情報を共有し、熊本県北部の玄関口としての機能を最大限に生かし、台湾大手半導体企業進出による最大限の効果を取り込みながら、企業誘致と地元企業育成にも取り組んでまいります。

農業への取り組みとしては、持続可能な農業経営と後継者の育成を支援し、パランスのとれた農業生産の推進の基盤となるパイプラインや農業施設の更新などに向け、関係機関との協議を進めます。

また、農業従事者が減少するなか、少ない人員で生産量の向上や環境への負荷軽減となる『スマート農業』を支援していきます。さらに民間企業と連携し特産品の開発、販路拡大に努めてまいります。

商工業については、物価高騰対策に取り組むとともに、起業・創業などを後押しし、活気に溢れた魅力ある企業が増えることで、多くの人が行き交う賑わいの

最後に、市政運営の基本姿勢は対話です。就任以来、市民の皆さんとの対話を重視し市政運営に取り組んできました。

ここ2年あまり新型コロナウイルス感染症により、直接対話する機会が減少している中、官・民ともDXの進展と取り組みは、さらに拡大していくと考えています。市としても、さまざまな分野で包括的にDXを活用した住みよいまちづくりに取り組めますが、今後も、より多くの市民の皆さんとの対話や意見交換を私の市政運営の原動力として、積極的にすすめてまいります。

私は、この新たな4年間の任期も、市民の皆さんのご期待に応えることに全力を尽くしてまいります。

今まで述べてきた課題や新たに生じる難題などに対し職員の先頭に立ち、先送りをせず解決に向けた努力を惜しむことなく、財政規律を維持しながら市民の皆さんのために自治体経営を全力で行なつてまいります。

その結果、市民福祉の向上、さらに質の高い行政サービスを展開することで、「住み続けたい」「住んでよかった」と感じてもらえるようなまちづくりを推進していく覚悟です。

これからも所期の目的を達成できますよう、市政に取り組んでまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます、私の所信表明といたします。

あるまちづくりを進めます。また引き続き、経営相談、経営改善普及事業など商工会・金融機関と連携することにより、中小企業者の経営安定化を推進してまいります。

※スマート農業  
ロボット技術や情報通信技術を活用し、省力化や高品質化を実現すること

### 5 観光や交流拠点の創出

御代志地区土地区画整理事業により本市の顔づくりはスタートしました。そこからの連動性や連携を持たせた事業として、周辺地域での交流の場づくりに向け取り組んでまいります。

近隣には阿蘇の眺望や風光明媚なロケーションがありながら、国・県有地の限定的な活用により観光や賑わいの場の創出に生かしていきたいです。これから、観光や交流拠点づくりの核となる事業に向けて取り組んでまいります。

### 6 SDGs・脱炭素社会の カーボンニュートラル の実現に向けた事業

本年度から、総合計画第3次基本構想の策定に向けた準備が始まります。

今、まさに直面しているコロナ禍へのさまざまな対策も踏まえ、持続可能な社

